

地域おこし協力隊

vol. 5

『陽子』の活動日記

今回は、12月末に紀北町で1泊2日にて行われた「高校生地域創造サミット」へ飯南高校の生徒さんと共に参加させていただきました。このサミットは高校生が地域のことを「考え」「行動し」「意欲を持ち」ながら地域とともに課題解決に取り組む姿勢を身につける機会となっており、紀北町でのフィールドワークやディスカッションを行い高校生ならではの発想を活かした地域の課題解決を検討し、その体験を活かすことで、将来社会に貢献する意欲を育て地域活性化に取り組むきっかけとなるようにすることが目的です。

フィールドワークでは「あおさのりの養殖の仕事体験」「森林組合の山林現場での木を切る体験」「こうじ屋の味噌作り体験」などがあり、私は夫婦で古民家を借りて料亭をしている稲米舎（とうべや）でのフィールドワークに参加しました。稲米舎は炭にこだわり炭火焼きを行うお店で、紀北町で備長炭を作っているところがあり、その備長炭を使い朝仕入れた魚や地鶏などを捌いて焼いてお客様に提供しています。まずは鶏肉や魚の炭火焼について亭主様が話しながらその技術を披露。その後は、参加している高校生一人一人が魚をお造りにする体験をしました。そしてお楽しみは、もちろん試食。お造りや炭火で焼いた魚・鶏肉をその場で頬張りました。みなさん、「美味しい！」「美味しい！」と絶賛。初めての料理体験や亭主様のお話に目を輝かせ聞いているのがとても印象的でした。私も高校生だった頃に、このような素晴らしい体験ができたならと少し羨ましく思いました。

私たちの地域にある飯南高校でもこのようなフィールドワークを行なっています。地域を学び場とし、地域課題解決型のキャリア教育の実践を通して、自ら考え挑戦し地域とともに生きる力を身につけることを目的としたフィールドワークです。

今回行われた「高校生地域創造サミット」が飯南・飯高地域でも行われ、多くの高校生がこの地区での実体験を通じた学びを得ることで成長し、その姿を見ることができたら、それはとても素敵なことになるだろうと感じたフィールドワークでした。



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。